

ICT活用レポート！（授業編）

第(1)学年（技術）科 単元名「情報の技術とは何だろう」での実践	
項目	内容
ICT 活用の場面	・班ごとの家庭学習時間を基にしたグラフ作成
使用した ICT 機器	・生徒用タブレット ・教師用タブレット ・テレビ
具体的な方法	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術を実際に体験させるため、表計算ソフトウェアの操作を指導する。ソフトウェアはエクセルを使用する。 ・セルの考え方を伝え、基本的な操作方法を指導する（規則性のある数字をドラッグで簡単に入力する、セルの表示形式、結合、表の作成など） ・人気のキャラクター3名の頭脳、スピード、力などを数値で示し、さまざまなグラフで提示し、数値にあったグラフの作成について考えさせる。その上で、グラフ作成の方法を教える。 ・班のメンバーごとに1週間の家庭学習時間を曜日ごとにまとめさせ、エクセルで表を作成する。 ・表を基にしたグラフ作成を個別に行う。 ・班でグラフの発表会を行う。 ・全体で代表者発表をして、その後グラフの利活用についてまとめる。
成果と課題	○成果
	△課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルの基本操作は、班ごとに全員が習得したのをチェックしてから進めたので、もれなく操作を身につけることができた。 ・数値の種類に応じたグラフ作成をそれぞれが行うことができた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの装飾が簡単にできるので、あまり考えず色を増やしたり、変えたりして、逆に見づらいグラフになっている場合があった。
感想や改善策	<p>ワードやパワーポイントは小学校でも扱っているが、エクセルは全員が初めてであり、ごく簡単な数値の入力でも、その機能の便利さに歓声を上げながら楽しんで授業に取り組んでいた。グラフについては導入に、人気キャラクターの仮想数値を使い、またそのグラフにおいては、ゲームなどでよく使われるレーダーチャートなども簡単に見せることができたため、おおいに興味関心を高めることができた。</p> <p>装飾が簡単にできるために、逆に見づらいグラフになってしまうなどの課題は、効果的な色彩使用をしている生徒を紹介しながら美術の色の学習などにも触れ、今後のより良い作成につながるようにした。</p> <p>グラフ作成は数値の「見える化」であり、どの教科にも応用できる汎用性があるので、今後は年間計画での位置づけや、各教科との連携を考えていきたい。</p>